

2017年総合生活改善 第3回中央生活闘争委員会

< 確認事項 >

2017年3月11日

自動車総連

☆2017年総合生活改善の取り組みにおいては、1,082単組が、生産性向上への成果配分、賃金格差・体系の是正、求める経済・社会の実現を目指して賃金改善に取り組んでいる。

とりわけ、規模の小さい単組が積極的な要求を掲げており、底上げ・格差是正を実現したいという強い意思が示されたものと認識する。こうした中、3月15日の集中回答日にむけ、拡大戦術会議登録組合（12組合）を中心に最終盤の追い上げを図っており、今次総合生活改善は正に正念場を迎えている。

☆本日までの交渉で、各単組は、これまでの企業基盤強化にむけた組合員一人ひとりの取り組みとともに、今後も競争力向上に取り組み続けていく決意と覚悟を主張した上で、企業競争力の礎である人への投資の重要性はもちろんのこと、格差の実態や賃金制度が抱える課題に基づく格差・体系是正の必要性など、本年の要求に込めた思いや組合員の期待、そして日本経済の牽引役たる自動車産業労使が果たすべき役割を精一杯主張し、交渉を追い上げてきた。

一方、経営側は、これまでの組合員の協力や頑張り感謝の意を示し、将来不安を払拭し日本経済を自律的成長に導きたいという思いは労使共通としながらも、賃金がつもつコストという一面が、中長期にわたって経営基盤に大きな影響を与えることや将来にわたっての競争力低下の懸念、更には、足下の不確実性の高まりや収益環境の変化などを理由に、具体的要求水準に対しては、ここにきてもなお慎重な姿勢を崩しておらず、労使の隔たりは依然として残されている状態である。

☆我々は、今一度、要求に込めた思いと本年の取り組み意義（「継続」と「転換」）の実現、組合員とその家族の強い期待、更には、経済・社会、産業全体、多くの働く仲間に対する我々が示す態度の重さと影響の大きさを強く認識した上で、本日、第3回中央生活闘争委員会において、自動車総連の「回答引き出しにむけた基本態度」を次の通り確認し、要求実現にむけて、最後まで粘り強く交渉を追い上げていく。

1. 回答引き出しにむけた基本態度

<賃金>

- 全ての単組は、底上げ・格差是正を実現したいという強い思いにこだわった回答引き出しを図るべく、昨年獲得実績を強く意識し、交渉を精力的に追い上げる。
- とりわけ、先行的に回答引き出しにあたる拡大戦術会議登録組合（12組合）は、そうした自動車総連全体の強い意思を形にすべく結束し、最終盤の交渉を機動的に追い上げる。
- 個別賃金については、平均賃金との同時決着を図る。
- 企業内最低賃金協定については、同じ企業に働く仲間である非正規労働者も含めた賃金下支えの観点に加え、広く自動車産業で働く者の賃金下支えにつながる特定（産業別）最低賃金への波及も視野に、協定の締結や締結対象者の拡大、締結水準の向上に向け最大限取り組む。

<非正規労働者に関する取り組み>

- 要求を行った単組は、具体的な水準での回答を引き出すべく、全力で取り組む。

<一時金>

- 年間一時金については、組合員とその家族の生活を守るため、また、組合員のこの一年間の努力・成果に報い、更なる意欲・活力に繋げていくためにも、賃金との「同時決着」「年間協定」を堅持するとともに、要求水準への組合員の強い思いを踏まえ、「満額獲得」に向け最後まで押し込む。

<働き方の改善>

- 職場に現存する障壁、とりわけ、恒常的な長時間労働の是正は産業全体の重要課題であるとの認識に立ち、各労連・単組の状況に即し、総実労働時間の短縮（36協定年間特別延長時間の引き下げ、所定内／所定外労働時間の低減、年次有給休暇の取得向上など）の着実な前進を図る。

2. 早期決着にむけた回答引き出し

- 各単組は、3月15日（水）から3月24日（金）の間で集中的に、各要求項目について同時回答を引き出し、3月末決着にむけ、最大限取り組む。
- ・拡大戦術会議登録組合（12組合）は、3月15日（水）午前中に、賃金・年間一時金、非正規労働者の取り組みなどの同時回答を引き出し決着する。
- ・自動車総連速報対象組合は、回答指定日に各要求項目の同時回答を引き出し決着し、即時性をもって報告する。
- ・全ての単組は、各労連が策定した戦術の下、全体の底上げにむけて等しく役割と責任を果たす。その上で、回答指定日の重みを踏まえて、車体・部品部門は3月末決着、販売部門は昨年よりも一日でも早い決着を強く意識し、早期決着にむけ取り組み、総連全体では遅くとも4月末までの決着を図るべく最大限努力する。

3. 第4回中央生活闘争委員会を3月21日（火）に開催する。